

敬愛大学講義「ICT・デジタル教科書とは？」

2016.1.13

東京書籍株式会社

東京書籍株式会社の講演は昔の私にとってはとても
要のあるものばかりだった。

デジタル教科書や電子黒板は子どもからしてもとても興味がありますし、楽しく学べることで勉強することもできます。私自身も使ってみて感じたことは、気持ちが大きいためです。授業がスムーズに行え、前にお手本のように見せらるることから集中度も上がり、字力も上がったと感じました。

教科ごとに様々のことやできごと、動画を見たり、書くことや出来たりして、使いやすく分かりやすうござと思いまじに。

今日は電子黒板とデジタル教科書についての紹介説明を受けました。

僕らが先生にいた時に、時には、ほとんどどの学校で書かれていました。それと思ひます。 実際先生にいたから使いこなすと思ひます。また自分が小学校の時は、アカントのアラブ文字で書かれていました。自分で、電子黒板全体を見ても、いましたか細かいところまで、矢印を使いました。 今日の講義を見てきましたが、授業と見えず先生が黒板で書いて先生がノートをとるというのを二三つ並んで一冊に並べました。しかし、電子黒板の細かい機能を全部見たいと思いつつ、先生が開けなかったアラブ語で

ANSWER

今日は、ICT機器である電子黒板の操作の仕方や内容を中心に見学

松達や小中学生の時とは色々なことが代わる所が運営の特徴

今日は、ICT機器である電子黒板の操作の仕方や内容を中止して見ました。私達が小、中学生の時と色々なことが代わって、より良い環境で学生や児童達が勉強しやすいうちに全てが違うなと思いました。又、紙や活字を見ながらではなく動画や教科書に動きを加えることによって児童が集中しながらではあると、うまい具合で、教師の個人の好みで教え方を変わると児童たてで教科書の内容も少しひがりいいじつになり配置を変更できたりなどといふことはあります。英語はとても便利だななど思いました。教員たてでは発音とかに特にこだわりがあるのです。

デジタル教科書の便利さがそこにつかれて、今の子供たちほどでも思っていません。自分で下さる時は、全く教科書が裏表紙であります。他に持っていくと重い。複数冊中に裏表紙よりも簡単にアタシングできます。動画を見ながら集めが勉強のツリティも上がると思う。電子黒板で伝えたいのは、部屋は黒板に書きことで上りやすくなると思う。物を用意せずに時間や写真など準備がなく済むため教員側にもメリットがあり、負担が減る。生徒たちの集中力も上がると思われる。良い方向にいくと思う。もし教師の仕事に巻きついたら、使用したい。

電子黒板とデジタル教科書のメモ欄へ貼りシールで、PCとスクリーンを行ったり来たりする必要がなく、画面に直接書き込める。部分的な分弧大文字や子どもの注意をひきつける筆がスムーズに行える。また、簡単動画等をすぐに出す事が出来る。

・教科書本文の加工が出来たし、写真も360°(ハノマ)だったり

言葉では伝わりにくい情報(川の流れの速さ等)も動画で伝えられる事も出来た。

インターネットのリンクを張っておけば、使うことも可能。

デジタル教科書が存在には知っていたが、実際にどのような機能があり、どう
ような点でメリットがあるのかは知らないかったので、今回細かく見えたとこで
わかった。電子黒板の機能性が小学校へ一番高いので、私が教師になら
電子黒板を工具に使い、メリットや使い勝手をしていて思った。ペーパーを
めくったり、動画を見たり、画像や文字をコピーして新しい形に作りこむ
こともできますなど。紙化教科書では二点も本当に便利ににくいことを
簡単にできてしまう点がメリットだと思った。しかし、全クラスに用意をすること
は価格の面でも厳しいと思う。グラフの変化や画像、動画などを(分離)
する表示などをできるなど、便利な点がたくさんあるので、これから
電子黒板を中心に行き来を進めるなら、取り入れやすい環境づくりを
目標だと思って

今ま、電子黒板やデジタル教科書の必要性を感じていなかた。便利かもしれないが、自分で書くからこそ覚えるのがから、ICTに頼るなどして自分でやることで成らてしまわぬは良くないと思いついた。でも、今回のアバランチ問題も良いところを見出しました。小学生からする興味を持ちやすく、自分自身を育むきっかけになったらう。授業への参加が期待されると思いました。先生側からしても良い意味で樂にならんことを思つた。使い方次第では、どこでいい教科書になるかと思つた。

「ICT・デジタル教科書とは」
電子黒板の機能を今日、初めて見ましたが、社会や理科、教科書を画面上に写して、説明できるのがとても便利だと児童また、社会とくらべて写真が少し大きいとかは写真と拡大することが出来ることが、その写真に合わせて動画を見ることが出来るのが便利だと思いました。また動画が30秒～2分くらいあるためかみなさんの先生が持つてましたので、時間も少しごとに

電子黒板とデジタル教材書について、実物を使いながらの話を聞いて、今までの黒板、教材書と比べて便利さと所々色々知れることができた。

私は電子黒板化することで、教師が文字を書くこと、生徒が紙に文字を書くことが減るから、便利！
良いところはたくさんあるけど、デメリットだけではたくさんの欠点もあるんだよと思つた。

教科書を書き、画像書きこみたり、拡大できたり、何人かの答えを同じ寺に「写し」としてビペタ!することができるすごいと思った。

デジタル教科書は驚くほど多かった。教科書の写真を拡大表示し、その单元に関連している動画を流せたり、本文をマークで印をつけたり、穴埋めのいじり、デジタル教科書上でみんなでもできるようにならせることがすべて叶った。便利になりましただけではなく、これまで「あまり」叶わなかった動画など、簡単に取り入れられて、生徒も興味をもって勉強に取り組めるようにならることは、すぐ先生にとっても生徒にとっても大成功のことだと思った。

プロジェクトに教科書を電子機器で受けたことがありますか。電子黒板を利用し授業は受けたことがありますので良い体験になりました。教科書を学ぶだけでなく、動画やアニメーション、教科書の本文加工など、便利な機能が多く、驚いた。画面が通常の黒板よりも小さいので、教科書の見込みや、ノートの書き込み以外の時は見やすい位置に配置するなどの工夫が必要だと感じた。席の位置を離れたところでも良いのではないかと考えた。大変問題に多い状況でつかみやすい問題もアニメーションなどを活用すれば理解が深まると考えた。

内容をいたただうだけの授業ではなく、面白さが高く、教師次第でいろいろな授業の形が生まれる。確かに便利なだけ、機能ばかりで故障やトラブルも考えられる。その対処法も整備する必要がある。教員自身がどちらか、アカウント両方が出来ると尚且つアカウントを楽しむ授業をする必要がある。

初めてデジタル教科書を見た。教科書が大きめの画面で見らうだけだと思ったのに、様子が結構に大変驚かされた。表紙と、授業の時、担当教科の先生は自ら見取り図を描いていました。下すべてデジタル教科書が書かれているから、授業準備の時間が省けます。電子黒板の付せんや文章資料など機能を大いに活用でき、便利だと思ふよ。
2点気が付いたところがあります。1つは見書きのトートのとり方です。電子黒板の導入で見書きに慣れて機会が減ってしまったのではないかでしょうか。2つ目、電子黒板を今後使うあたりで使い方ワザティーはあるのでしょうか。
→最後の動画で、電子黒板を1つ、資料の上に記入していく。

→電子黒板と一緒に黒板の両方をうまく活用していく上

電子黒木の機能は本当に素晴らしい、授業の準備も今は、資料あつめや映像あつめの大変でないデジタル教材教科書があれば、映像も簡単な資料よりも少なければ時間準備がかかる。=教員自身一時的に気持ちは余裕がでると思う。

授業で指導側が使う方に良いと思う、子どもたちも興味をもって授業に取り組むことは思う。でも、子どもがモチベーションとして電子教科書をそこせうのは、あまり共感できない。まずはが発達して、アロゴからデジタル化していく中で全てをデジタルにしちゃって良い。アロゴのままでいいものもある。なんどかがじてデジタルにすむ自分自身が教材教科書、黒木が教育を受けてきたからというのがあるから、あまり良い共

デジタル教科書や電子黒板がこれから普及していくという話はよく聞いていたが、全国の中高でデジタル教科書は39.3%、電子黒板では78.0%という高・整備率に驚いた。手持ち電子黒板では教科に付して様々な特徴が備えられていてすごいと思った。社会では、よく資料が活用でき、動画や動画で、多くの人々が一度たり聞いたり読み込んで教科書に沿って進む中で興味・理解が深まると思。また、英語では、実際に逆行する人が多くてこの間で「今よりも、段階から高いレベルで授業を受けられる。電子黒板は、仄かのこの資料が3.2%のスペースは授業に入れて、理解度を深めることでさらなる可能性がある」といわれた。しかし、メリットだけではなくデメリットはないのか? 教師自身、子どもたちへの影響はいかが? 将来的に使うことになりそうなビニールも目次付、しっかり名前をつけていた。

今日の「ICT・デジタル教科書とは?」について講義を受けました。近未来の授業スタイルが段々分からなくなってきたと私は思ふとせらまたした。確かに電子黒板は、タッチして書いたり、糸を伸ばして動画を流すことができる。教師にとっても、生徒にとっても便利で分かりやすいですが、教師、生徒共々、教科書そのものの重物が黒くなってるのでは、ないのかと私は思ふた。それをやめ教科書をハラハラ、「あ! そのものが紙や角がある週間が無くなる。日本人が愛してた文集、文庫がでなくなってしまうにしがれ生徒達もこわくなっちゃった。また、子どもにICTを触らせる場合(教科として扱う場合)、扱うためのICTへの知識も必要で、それが付け付けてはならない所もあり、環境として状況に陥つたら、教師側はICTを使ふように配慮しておかないわけにはならないし、電子黒板が壊れた時等にも黒板だけを使って授業にならざらだ。でもどちらも今まで以上に授業内容が分からなくなってしまった

電子黒板、デジタル教科書という単語はよく耳にしますが、実際どうなつかかは理解していないためで、日々の講義はとても府得意美しかった。各授業用の指導者用デジタル教科書を見て、子供達が喜ばないわけがないと思ふ。授業の資料探しで検定もなく教師が自分で用意した資料を貰ひ、自由度が高いと感じた。

しかし、問題点を多しきつけられた。アニメーションや動画などは申し分ない。ICT導入で多くの課題が残ったと改めて、ICTを導入した場合においてアプロケ先生は困るだろう。デジタル教材書、決算書などの資料を読みこなす力がまだ足りないからだ。データ入力の精度も問題だ。今後、